串間市書かない窓口システム導入業務 非機能要件一覧

No	区分	記載事項	内容
1	ユーザビリティ	・システムの各機能におけるユーザビリティ及びアクセシビリティに関する内容を記載する ・システム利用者の種類、特性及び配慮すべきことを記載する	デジタル庁の窓口DXSaaS要件定義書の仕様に準拠する
2	システム方式	ハードウェア、ソフトウェア、ネットワーク等のシステムの構成に関する全体の方針について記載	デジタル庁の窓口DXSaaS要件定義書の仕様に準拠する
3	規模	システム規模について、機器数、設置場所(拠点数等)、システムの利用者数等について記載する	拠点名: ①串間市役所本庁舎 2式 (宮崎県串間市大字西方5550) 5名程度 ②串間市総合保健福祉センター 2式 (宮崎県串間市大字西方9365-8) 5名程度 ③串間市各支所 各所1式 2名ずつ ・市木支所(宮崎県串間市大字市木7375-1) ・大東支所(宮崎県串間市大字奈留5217-1) ・本城支所(宮崎県串間市大字本城987番地) ・都井支所(宮崎県串間市大字都井4756)
4	性能	応答時間(処理能力等)を記載する	デジタル庁の窓口DXSaaS要件定義書の仕様に準拠する
5	信頼性	システムの稼働率等を記載する ※どこまでの稼働に耐えるものなのか、ピークの計算等 (24時間稼働、定時内(9時-17時)、夜間のみ停止(9時-21時)等)	24時間365日稼働すること サービス稼働率は99.5%以上を維持すること
6	拡張性	システムの性能及び機能の拡張性について記載する	委託仕様書に記載のとおり
7	上位互換性	・利用PCやWEBブラウザのバージョンアップ時の対応について記載する ・システム動作に必要な不可欠なソフトウェア(ミドルウェア)及びパッケージ製品のバージョンアップ時の対応について	デジタル庁の窓口DXSaaS要件定義書の仕様に準拠する
8	中立性	市場において容易に取得できるオープンな標準的技術または製品を用いる等の要件を記載する ※技術または製品を指定する場合は、指定する合理的な理由を明記する	デジタル庁の窓口DXSaaS要件定義書の仕様に準拠する
9	継続性	システム情報の運用継続性について、障害、災害等による情報システムの問題発生時に求められる必要最低限の機能、その目標復旧時間等を記載する	[一般的な障害(プロセス停止等)] 5分以内に自動復旧すること。かつ1時間以内に障害通知を行うこと [重度の障害(多重障害等)] 3時間以内に復旧すること。かつ1時間以内に障害通知を行うこと [大規模障害(クラウドサービスプロバイダー自体の停止)] 可及的速やかに復旧を目指すこと。かつ1時間以内に障害通知を行うこと
10	情報セキュリティ	システムの情報セキュリティ対策に関する事項について記載する また、クライアントシステムと連携する場合は、クライアント側の情報セキュリティポリシーも参照した上で要件を適切に定めるものとする	デジタル庁の窓口DXSaaS要件定義書の仕様に準拠する
11	システム方式稼働環境	ハードウェアの構成、ソフトウェアの構成、ネットワークの構成、施設設備要件について記載する	デジタル庁の窓口DXSaaS要件定義書の仕様に準拠する
12	テスト	テストアプローチの概要を記載する	SaaS上に本番環境と同程度の検証環境を構築し、現行基幹システムとの連携確認や動作検証などの受入テストを行う。不具合がないことが確認されたのち、本番環境への切替を行うこと
13	移行	本番環境へのシステム移行及びデータ移行の移行手順等を記載する	デジタル庁の窓口DXSaaS要件定義書の仕様に準拠する
14	教育	システム利用者に対する教育について、教育者の範囲、教育の方法等を記載する	操作マニュアルの作成を行い、システムの更改に合わせて迅速に更新していくこと また、受入テストで活用した検証環境において、模擬形式での窓口業務体験を
15	引継ぎ	システム開発、運用等について他の関係者へ引継ぎする要件を記載する	デジタル庁の窓口DXSaaS要件定義書の仕様に準拠する
16	運用	システムの運用について、運転管理・監視等に関する要件を記載する	デジタル庁の窓口DXSaaS要件定義書の仕様に準拠する